

「市営鹿児島中央駅東口自転車等駐車場、 市営黒田踏切自転車等駐車場及び市営 鹿児島中央駅西口自転車等駐車場」 指定管理者募集要項

次のとおり標記公の施設市営鹿児島中央駅東口自転車等駐車場、市営黒田踏切自転車等駐車場及び市営鹿児島中央駅西口自転車等駐車場（以下「指定管理自転車等駐車場」という。）の指定管理者を募集します。

1 指定管理者制度導入の目的

多様化する住民ニーズに、より効果的、効率的に対応するため、指定管理自転車等駐車場の管理運営を一体的に行うことにより、その機能を最大限に発揮し、市民サービスの向上と経費の縮減を図ることを目的とします。

2 施設の概要

名 称	市営鹿児島中央駅東口自転車等駐車場	市営黒田踏切自転車等駐車場	市営鹿児島中央駅西口自転車等駐車場
所在地	鹿児島市中央町39番1	鹿児島市西田一丁目1番33	鹿児島市武一丁目7番3
設置時期	平成15年7月（現在の施設は平成16年9月に移設）	平成8年10月	平成8年10月
施設概要			
①敷地面積	1,517.01㎡	23.25㎡	1,253.00㎡
②建物構造	鉄骨造3階建(2・3階部分)及び鉄骨造平屋建	屋根付	新幹線高架下
③延床面積	2,457.33㎡	23.25㎡	1,253.00㎡
④収容台数	自転車 1,603台 原動機付自転車 225台 自動二輪車 13台 計 1,841台	自転車 - 原動機付自転車 20台 自動二輪車 - 計 20台	自転車 563台 原動機付自転車 110台 自動二輪車 67台 計 740台
⑤主要設備	自動ゲート 一時利用券発行機 精算機（定期更新機能付） 一時利用券確認機 個別ロック式駐輪機 搬送コンベア 管理人室 トイレ 防犯カメラ	-	自動ゲート カード発行機 カードリーダーポスト 管理人室 防犯カメラ
利用件数			
令和5年度	定期利用 4,068件 一時利用 95,762件	定期利用 30件 一時利用 -	定期利用 4,531件 一時利用 63,213件
令和6年度	定期利用 3,832件 一時利用 93,533件	定期利用 21件 一時利用 -	定期利用 4,372件 一時利用 62,713件
令和7年度	定期利用 3,577件 一時利用 94,183件	定期利用 17件 一時利用 -	定期利用 4,288件 一時利用 60,202件

※ 施設の詳細については、別冊「指定管理者の業務指針」を参照すること。

3 業務の範囲

- (1) 指定管理自転車等駐車場の定期利用の許可等に関する業務
- (2) 指定管理自転車等駐車場の定期利用の許可の取消し等に関する業務
- (3) 指定管理自転車等駐車場の一時利用の拒否に関する業務
- (4) 指定管理自転車等駐車場内からの自転車等の移動命令に関する業務
- (5) 指定管理自転車等駐車場の施設及び設備の維持管理に関する業務
- (6) 前各号に掲げるもののほか、指定管理自転車等駐車場の運営に関する事務のうち、市長が必要と認める業務

※ 業務の詳細については、別冊「指定管理者の業務指針」を参照すること。

4 指定予定期間

令和9年4月1日から令和14年3月31日まで

(指定期間全体に係る基本協定を締結するとともに、指定期間における会計年度(4月1日から翌年3月31日までをいう。以下同じ。)ごとに、鹿児島市(以下「本市」という。)と年度協定を締結します。)

5 管理の基準

(1) 利用時間

①市営鹿児島中央駅東口自転車等駐車場

午前6時から午後12時まで(大型自動二輪車及び総排気量が0.125リットルを超える普通自動二輪車の駐車区画にあっては、全日)

②市営黒田踏切自転車等駐車場

全日

③市営鹿児島中央駅西口自転車等駐車場

午前6時から午後12時まで(定期利用にあっては、全日)

(2) 休止日 年中無休

ただし、市長は指定管理自転車等駐車場の整備のため、又は管理上の理由により必要があると認めるときは、指定管理自転車等駐車場の全部又は一部の供用を休止することができます。

※ 管理に係る詳細については、別冊「指定管理者の業務指針」を参照すること。

6 本市が支払う委託料

管理業務に要する経費として本市が支払う金額は、会計年度ごとに締結する協定書において予算の範囲で定めます(申請の際に応募法人等の提案した委託料(以下「申請時の提案額」という。))が、そのまま本市が支払う委託料になるものではありません。)

※ 委託料の額は、申請時の提案額を上限とし、特段の事情がない限り、増額は認めません。

7 応募資格

申請者は、申請時において、以下の各号を全て満たす者となります。

- (1) 本市内に主たる事務所又は営業所を有する法人その他の団体（以下「法人等」という。）であること。
- (2) 会社更生法（平成14年法律第154号）、民事再生法（平成11年法律第225号）等の規定に基づき、更生手続又は再生手続をしていない法人等であること。
- (3) 本市から指名停止措置を受けていない法人等であること。
- (4) 納期の到来している国税、鹿児島県税、鹿児島市税、水道料金及び下水道使用料を完納している法人等であること。
- (5) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない法人等であること（巻末「参考：地方自治法施行令抜粋」参照）。
- (6) 市長及び市議会議員本人が無限責任社員、取締役、執行役若しくは監査役又はこれらに準ずべき者、支配人及び清算人でない法人等であること（※市長が無限責任社員等で、本市が資本金、基本金その他これらに準ずるもので4分の1以上を出資している法人及び外郭団体等は除く。）。
- (7) 本市が行う契約からの暴力団排除対策要綱（平成26年3月27日制定）に基づく入札参加除外措置を受けていないこと。
- (8) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団又は同条第6号に規定する暴力団員の統制下にある団体に該当しないこと。

※ 次の①から③までのいずれにも該当する共同企業体で、構成員全員が応募資格を満たす共同企業体については、申請することができます。

ただし、同一の施設において、単独で申請した法人等が共同企業体の構成員になること及び2以上の共同企業体の構成員になることはできません。

また、申請後、代表者及び構成員の変更は認めません。

なお、「8 申請に必要な書類」については、「④事業者概要調書」から「⑬役員の名簿及び履歴書」までの書類（「⑦営業用機械器具調書」を除く。）は構成員ごとに作成し、その他の書類は代表者が作成してください。

○共同企業体の内容

① 構成員の数及び組合せ

構成員の数は、2者又は3者とし、構成員の組合せは個人以外の法人等によるものとします。

② 出資比率

構成員の出資比率は、構成員の協議により定めるものとします。ただし、構成員の最低出資比率は、均等割の10分の6以上とします。

③ 代表者

代表者は、構成員のうち最大の出資比率となる構成員とし、出資比率が同等の場合は、管理の主たる業務を行う構成員とします。

8 申請に必要な書類

(1) 指定管理者指定申請書

(2) 添付書類（原則A4判）

- ① 市営鹿児島中央駅東口自転車等駐車場、市営黒田踏切自転車等駐車場及び市営鹿児島中央駅西口自転車等駐車場事業計画書（様式1）
- ② 市営鹿児島中央駅東口自転車等駐車場、市営黒田踏切自転車等駐車場及び市営鹿児島中央駅西口自転車等駐車場収支予算書（様式2）
- ③ 管理運営費明細書（様式3）
- ④ 事業者概要調書（様式4）
- ⑤ 従業員数（市内）調書（様式5）
- ⑥ 類似施設等運営実績表（様式6）
- ⑦ 営業用機械器具調書（様式7）
- ⑧ 当該法人の定款（法人以外の団体にあつては、これに相当する書類）
- ⑨ 法人にあつては、当該法人の登記簿謄本
- ⑩ 申請法人等の申請日前において作成した直近の収支予算書、事業計画書及び決算報告書（決算報告書については、直近3か年）
- ⑪ 設立趣旨、事業内容のパンフレット等法人等の概要が分かるもの
- ⑫ 国税、鹿児島県税の納税証明書、鹿児島市税の滞納がないことの証明書、水道料金及び下水道使用料の納入証明書
- ⑬ 役員の名簿及び履歴書
- ⑭ 共同企業体協定書（共同企業体で申請するときのみ）

※ ②及び③については、指定期間内における人件費や事務費など管理運営に必要な経費は全て見込んでください。

※ 申請日現在において、本市業務委託等入札参加有資格業者又は本市物品購入等入札参加有資格業者であるものは、⑨に掲げる書類を提出する必要はありませんが、有資格業者決定通知書の写しを提出してください。

※ 申請書類は、申請日現在で作成してください。⑨及び⑫については、申請日前3か月内に発行されたものを提出してください（コピー可）。

※ 提出部数は各1部です。持参又は郵送（受付期間必着のこと。）してください。申請に係る費用は、申請者の負担とします。なお、提出された書類等は、返却しません（ファックス等による受付は致しません。）。

※ 申請書等の様式は、本市のホームページからダウンロードできます。

<http://www.city.kagoshima.lg.jp/>

9 申請書の受付期間 ※申請後の書類差替はできません。

(1) 受付期間

令和8年6月30日（火）から同年8月13日（木）まで（必着）（土曜日、日曜日及び休日を除く。）

(2) 受付時間

午前8時45分から午後4時30分まで（正午から午後1時までの時間を除く。）

※ 説明会：令和8年7月6日（月）午後3時30分から鹿児島市役所本庁舎東別館（山下町11番1号）の5階501会議室で実施します。説明会への参加については、事前に電話等で連絡してください。

※ 質疑がある場合は、所定の様式（質問票）により、令和8年7月16日（木）までに電子メール（dkan-kanri@city.kagoshima.lg.jp）又はファックス（099-216-1400）で、提出してください（令和8年7月21日（火）までに、ホームページにて回答を掲載します。）。

10 募集要項の配布及び申請の受付場所

鹿児島市建設局道路部道路管理課（東別館5階）

電話 099-216-1372

住所 〒892-8677 鹿児島市山下町11番1号

11 選定基準、選定方法

(1) 選定基準、選定の視点及び配点

選定基準／選定の視点	配点
① 指定管理自転車等駐車場の設置目的を達成することができるものであること。	(110)
(ア) 業務指針と事業計画書等との整合性はとれているか	20
(イ) 管理運営に対する企画力・意欲・姿勢はどうか	20
(ウ) 要望・苦情等への対応策は十分か	10
(エ) 環境に配慮した取組の状況はどうか	10
(オ) 法定の障害者雇用の状況はどうか	10
(カ) 社会貢献への取組状況はどうか	10
(キ) 自主提案事業の提案内容はどうか	20
(ク) 自主事業の提案内容はどうか	10
② 市民の平等利用を確保することができるものであること。	(30)
(ア) 市民の平等利用の確保策(差別的な取扱いの禁止など)	10
(イ) 市民との情報の共有という観点からの情報公開の対応は十分か	10
(ウ) 施設運営に関するモニタリング	10
③ 指定管理自転車等駐車場の効用を最大限に発揮するとともに、管理に係る経費の縮減が図られるものであること。	(180)
(ア) 市民サービスの向上策は十分か	30
(イ) 提案額の評価	90
(ウ) 市民サービスの低下を招かない経費縮減策	20
(エ) 類似施設等での業務実績はあるか	10
(オ) 施設の広報計画が適切に行われるか	10
(カ) 施設の利用促進などに関する企画力・意欲・姿勢はどうか	20
④ 指定管理自転車等駐車場の管理を安定して行う物的能力及び人的能力を有しており、又は確保できる見込みがあること。	(130)
(ア) 職員の配置計画・研修計画は適切か	20
(イ) 法人等の財務状況は良好か	20
(ウ) 個人情報の保護対策は十分か	20
(エ) 安全管理の対策は十分か	20
(オ) 緊急時の対応策は適切か	20
(カ) 業務委託の状況はどうか	30
小計(①+②+③+④)	(450)
⑤ その他(加点項目)	(5)
(ア) 市内団体の優遇措置	5
合計(①+②+③+④+⑤)	(455)

※ 加点項目については、以下の内容に該当した場合に加点します。

加点項目	該当条件
------	------

(ア) 市内団体の優遇措置 | 登記簿謄本等に記載された本店所在地が鹿児島市内である場合

※ 共同企業体の場合は、該当する団体の出資比率に応じて評点を計算します。(小数点以下、四捨五入)

(計算例)

三者の共同企業体で出資比率が4(該当):3(該当):3(非該当)の場合
5点(配点)×7(要件に該当する出資比率)÷10=3.5÷4(得点)

(2) 選定方法

応募書類の審査及び代表者等の面接審査により選定します。

※ 面接審査は令和8年8月下旬頃を予定しています。日時等詳細は後日ご連絡します。

12 選定結果及び理由の通知

応募者全員に、令和8年11月をめぐりに、選定結果を文書にて通知します。なお、指定管理者は、鹿児島市議会の議決を経て決定(指定)されます。

※ 議決後、業務執行上必要となる事項を、本市と指定管理者の協議により協定として締結します。

※ 協定内容の詳細については、別冊「指定管理者の業務指針」を参照すること。

13 公租公課

指定管理者は、法人税、消費税及び地方消費税、法人住民税、法人事業税、固定資産税(償却資産)等のほか、本市では、事業所税の納税義務を負う場合があります。詳細は、各関係機関にお問い合わせください。

税務官公署	所管する国税及び地方税
税務署	法人税、消費税及び地方消費税
鹿児島地域振興局	法人県民税、法人事業税
鹿児島市役所	【市民税課】法人市民税、事業所税 【資産税課】固定資産税(償却資産)

14 その他

(1) 申請その他提出された書類は、開示又は公表することがあります。

(2) 管理業務等の実施中に故意又は過失により本市又は第三者に対し、損害を与えたときは、指定管理者の負担でその損害を賠償しなければなりません。

この損害賠償を担保するため、賠償責任保険に加入していない法人等は、保険に加入する必要があります。

15 自主事業

指定管理自転車等駐車場の使用許可又は行政財産の目的外使用許可を得た場合、自主事業(※)として収益事業を行うことができます。

得られた収入は、全て指定管理者の収入になりますが、実施に伴う費用や第三者に損害を与えた場合の損害賠償など、自主事業の実施に伴う一切の責任については、指定管理者が負

うこととなります。

自主事業実施までの手順は、以下のとおりです。

- ① 施設所管課への事前相談
- ② 施設所管課において施設の使用許可又は行政財産の目的外使用許可の要件を満たすか等を確認
- ③ 施設の使用許可又は行政財産の目的外使用許可手続
- ④ 自主事業の実施
- ⑤ 自主事業の結果報告（利用者の推移、イベントの参加人数など施設の利用促進に寄与した効果 等）

なお、指定後は、自主事業の実施について施設所管課と協議することとなります（指定期間中の提案も可）。

※自主事業・・・指定管理者がその管理する公の施設において、指定管理業務とは別に、指定管理者ではなく一事業者として、施設の使用許可又は目的外使用許可を得て行う事業のこと。

自主提案事業との違いは、下表のとおりです。

	費用負担	収益の帰属	事業実施の責任
自主提案事業	指定管理料で負担	— ※通常の使用料及び材料費等実費相当以外のものを利用者から徴収することはできない	業務指針のリスク分擔表や協定による
自主事業	指定管理者が自己で負担	指定管理者の収入	指定管理者

「参考：地方自治法施行令抜粋」

(一般競争入札の参加者の資格)

第167条の4 普通地方公共団体は、特別の理由がある場合を除くほか、一般競争入札に次の各号のいずれかに該当する者を参加させることができない。

- (1) 当該入札に係る契約を締結する能力を有しない者
- (2) 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
- (3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第32条第1項各号に掲げる者

2 普通地方公共団体は、一般競争入札に参加しようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認められるときは、その者について3年以内の期間を定めて一般競争入札に参加させないことができる。その者を代理人、支配人その他の使用人又は入札代理人として使用する者についても、また同様とする。

- (1) 契約の履行に当たり、故意に工事、製造その他の役務を粗雑に行い、又は物件の品質若しくは数量に関して不正の行為をしたとき。
- (2) 競争入札又はせり売りにおいて、その公正な執行を妨げたとき又は公正な価格の成立を害し、若しくは不正の利益を得るために連合したとき。
- (3) 落札者が契約を締結すること又は契約者が契約を履行することを妨げたとき。
- (4) 地方自治法第234条の2第1項の規定による監督又は検査の実施に当たり職員の職務の執行を妨げたとき。
- (5) 正当な理由がなくて契約を履行しなかつたとき。
- (6) 契約により、契約の後に代価の額を確定する場合において、当該代価の請求を故意に虚偽の事実に基づき過大な額で行つたとき。
- (7) この項（この号を除く。）の規定により一般競争入札に参加できないこととされている者を契約の締結又は契約の履行に当たり代理人、支配人その他の使用人として使用したとき。

